



芝小だより

12月号

令和5年11月30日
発行者 港区立芝小学校
〒105-0014
港区芝2-21-3
[TEL:03-3456-3072](tel:03-3456-3072)
FAX:03-3456-3071

「多様性を認めて」

校長 川原 哲郎

先日の学習発表会には、多くの保護者の皆様に御来校いただき、子供たちの学習の成果の発表に大きな拍手をいただきありがとうございました。子供たちの成長を感じていただけたのではないのでしょうか。子供たちが、普段の学習を生かし、それぞれの発表の方法で表現することができ、達成感を得ることができた学習発表会だったと思います。

また、開校記念日に行った記念集会のアトラクションにも、多くの保護者の皆様、地域の皆様に参加していただき、子供たちが考えた「保護者や地域の人たちと一緒に周年をお祝いするために、風船を上げたい。」ということが実現しました。飛んでいく風船を見上げている子供たちの嬉しそうな笑顔が印象的でした。

さて、12月4日～10日は「人権週間」です。毎年、12月10日の「世界人権デー」を最終日とする1週間を日本では「人権週間」としています。芝小学校は、11月27日～12月15日を「芝小人権週間」として、特に人権について考える活動を行っています。11月27日(月)の全校朝会の時間を使って人権集会を行い、運営委員会によるパワーポイントを使った人権に関する発表を行いました。校長からも子供たちに向けて、「多様性」について話をしました。私たち人間は、見た目も考え方も一人一人違いがあります。みんなそれぞれ違うところを認め合いながら、自分や友達のいいところをたくさん見付けられるようになってほしいと思っています。「自分の好きなところはどんなところか考えてみること」「友達のすてきなところはどんなところか考えてみること」「自分と友達の違うところはどんなところか考えてみること」そうすると、一人一人の「個性」が見えてきます。大切なのは、「自分も友達も大切にする」という気持ちです。

本校でも、「いじめの問題」をはじめ、さまざまな人権課題について学ぶ機会をつくり、自分の大切さとともに、他の人の大切さを認めることができ、人権課題に関わる差別意識の解消を目指せる人権感覚もち、自ら行動することができる児童を育てていきたいと考えています。

運営委員会の発表なのなかでも、「いじめをしているところを見たらどうするか」ということがありました。「いじめている人に、いじめだよと伝える。」「勇気をもっていじめはダメだと伝える。」「近くの人に助けを求める。」といった考えが出されていました。いじめは人権を侵害する行為です。子供たち一人一人が、絶対にいじめはしない、させない、許さないという気持ちをもって学校生活を送ってほしいと思います。

「芝小人権週間」を機に、各御家庭でも人権やいじめの問題について改めてお子さんと話をしていただければと思います。よろしくお願いたします。

12月生活目標「学校をきれいにしよう」

「掃除の時間を大切にしよう」

月、火、木、金曜日のお昼の時間に掃除の時間があります。低学年と高学年で時間は異なりますが、どのクラスも教室や廊下、特別教室の持ち場があり、箒や雑巾を使って掃除をします。1年生も、箒の使い方や雑巾の絞り方が随分上手になりました。

日々の掃除の時間の中で、隅々まで丁寧に掃除をする子、自分の分担が終わって他の場所を手伝う子など、頑張る子供たちの姿が見られています。掃除の時間を通して、自分の役割に責任をもつ力や、友達と協力して取り組む力を身に付けてほしいと願っています。

今月は1年の最後の月です。25日には大掃除が予定されています。学校の隅々まできれいに掃除をし、気持ちよく新年を迎えられるようにしましょう。

(生活指導部 古西 桃子)

学びの部屋

～必要な時に 必要なものを 正しく～

11月29日に学校薬剤師の嶋野先生を講師に6年生の薬物乱用防止教室を実施しました。「薬物」というと、自分には関係のないものと思いがちですが、日常的に服用しているアレルギーの薬や鎮痛剤などもすべてが薬物に含まれると知ると、児童は少し驚いた様子を見せます。実際、今10代20代の間で問題になっているのは、薬局等身近なところで手に入る薬を用いての乱用です。また最近では、糖尿病治療薬が痩せる薬として美容サロンなどで処方され、患者以外の服用が増えていることも問題になっています。

今回、薬には作用と副作用があること、どんな薬でも使い方を守らなければ命に関わる事などを学びました。自分の身体を管理し、より良い生活を送れるよう、正しい薬の使い方に関して御家庭でも御指導をよろしくお願いたします。

(養護教諭 村上 咲)